

今年の雛人形商戦
売れ筋は 20 万円前後の親王飾りセット
淡い色調の衣裳と木目調の台屏風セットが好調



商戦の中心商品 親王飾りセット（吉徳 浅草橋本店）

令和 6 年 初節句を迎える女兒の健やかな成長と幸せを願う雛人形商戦が本格的に始まりました。

遠く奈良平安の昔から受け継がれ江戸時代に確立した日本のゆかしい年中行事「雛祭り」。創業 1,711 年。人形の総合企業・株式会社 吉徳 <https://www.yoshitoku.co.jp/>（東京都台東区浅草橋 1-9-14、資本金 1 億円、社長：12 世山田徳兵衛）では、浅草橋本店をはじめ全国の直営 11 店舗にて、商戦に臨んでいます。

◆母親のニーズに応える品揃え

かわいい我が子のための雛人形選び。その主導権は母親が握っています。雛人形はその意味合いからその年ごとの流行スタイルというものはありませんが、母親の好み・感性は千差万別です。吉徳はそのニーズに応えるべく、例年以上にアイテムの間口を広げ、豊富な品揃えに注力しています。現代の母親は、SNS 等で予備知識を学び、来店時は自分の好み・こだわりにマッチする顔や衣裳、屏風に至るまで全体の雰囲気など、時間をかけてチェックして、人形を選びます。

◆売れ筋商品は 20 万円(税込)前後の親王飾りセット

雛飾りセットは親王飾り、三段飾り、収納箱飾り、ケース飾り、段飾り、木目込飾りなど多種多様です。

今年の売れ筋商品は昨シーズンと変わらず、200,000 円 (税込) 前後の親王飾りセット (男雛、女雛一対) が中心と見ています。サイズについては、購入世代の住宅環境など様々な要因で、全体的に間口 60cm 前後のコンパクトサイズが好まれています。一方、飾る場所に余裕があるのでより華やかなものをと、三人官女が加わった三段飾り 300,000 円前後 (税込) も根強い人気です。なおこの三段飾りには台座が収納箱を兼ねている収納箱三段飾りも品ぞろえに加えています。

衣裳については、本物志向が一段と進み、古典柄の金襴を用いた本式衣裳が主流となっています。その他には、淡い色合いの衣裳と木目調の飾り台や屏風とを組み合わせたこだわりのあるセットも好評です。

◆今シーズンは淡い色調、木目の台屏風のセットが好まれる傾向

昨年末の早期購入客の動きを見る限りは、衣裳も屏風等についても淡い色合いのものが好まれている傾向が見られます。飾る部屋や家具との調和など今日的住宅環境が大きく影響しているようです。

◆雛人形は古来大切な子を守る「お守り」…ひとり一飾り…次女にもその思いを

雛人形は「人形 (ひとがた)」または「形代 (かたしろ)」と呼ばれる、人のかたどったものに「けがれ」を移してその「身代わり」となって難を逃れる厄除けの行事に由来すると言われています。雛人形は大切な子供を守ってくれるお守りの存在です。お守りは本来ひとりに一つ用意するものです。吉徳では、そうした意味合いからも「二人目にもその思いを」と、場面をとらえ啓蒙活動を行っています。

以上